

第10節 新しい環境文化の創造と継承

1 環境文化の創造

これまでの環境との良い関係に学びながら、新しい時代にふさわしい環境との関わり方や生活文化について考え、全ての主体が協力して、地域の環境を守るための取り組みを進めていきます。

地域文化の再発見と創造を進めるため、公民館をはじめとする学習拠点の整備や各種団体、指導者との連携のもとに学習体制の整備を図り、地域文化の学習機会の充実に努めます。

地域住民による環境づくり活動を促進するために、環境情報システム「大津のかんきょう宝箱」の活用等により環境に対する関心を深め、環境づくりについて自ら考え行動するような気運を盛り上げていきます。また地域での身近な環境づくりを支援します。

<実施事業等>

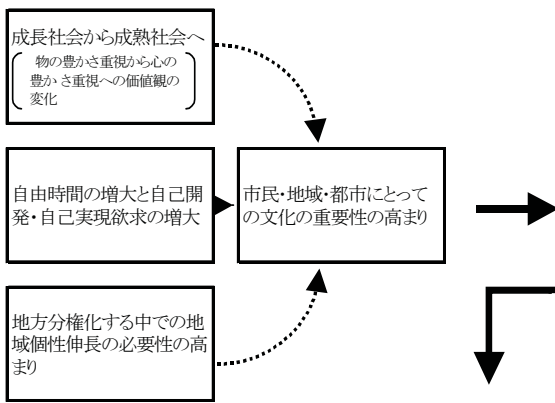
(1) 環境にやさしい市民生活文化の振興

ア 文化振興ビジョンの推進

本市においては、市民センター・公民館・市民会館・生涯学習センター・歴史博物館・伝統芸能会館などを中心に様々な市民文化活動が日常的に行われてきており、これらの素地を活かし、市民の文化活動をより高めていくことが求められていることから、ビジョンに定められた基本目標の達成に向け関係部局での事業推進を図っています。⁽⁹⁾

大津市 文化振興ビジョンの概要

ビジョン策定の背景



ビジョン策定の趣旨

本市においては、市民センター・公民館、市民会館、生涯学習センター、歴史博物館、伝統芸能会館などを中心に様々な市民の文化活動が日常的に行われてきており、これらの素地を活かし、市民の文化活動をより高めていくことが、求められています。

そして、成熟社会における豊かな市民生活の実現という観点から文化をいかに振興するかが大きな課題であるとの認識に立ち、「大津市文化振興ビジョン」を策定するものです。

基本目標

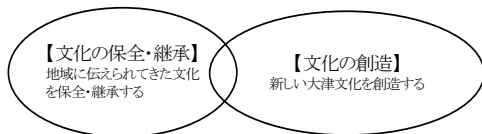
ちりばめられた個性輝くまち・大津

ビジョン策定の目的

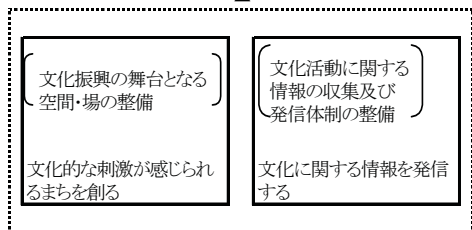
- 本市における文化振興に関わる目標像、及び中長期の施策展開の基本方針を明確にすること。
- 総合的な文化行政の推進に向け、各行政分野と文化の関わりを整理し、分野毎に施策を体系化することで、今後の取り組みの柱を明確にすること。
- 文化振興(施策)において市民・地域社会・企業・行政等の各主体が、文化活動への参画、あるいは支援等の役割をどのように担っていくのかを明確にすること。

文化振興の基本方向

<文化振興の方向>



【文化活動の主役である市民】
市民の主体性を活かす



ビジョンが対象とする領域

文化振興ビジョンでは、特に行政が積極的に関わるべき領域について取り扱います。

- 芸術文化
芸術文化は文化行政の中心をなす、文化振興を牽引する領域です。今後は、活動レベルの向上のみならず、専門家から市民への裾野の広がりが重要となります。
- 歴史・伝統文化
歴史・伝統文化は大津の資源であり、大津の魅力・個性を育み、高めてきた基盤ともいえます。この保存、継承はもとより、時代に合わせた活用・発展をめざすことが必要です。
- 市民が主体的に取り組む文化活動
芸術文化、歴史・伝統文化はもとより、生活文化など市民が取り組む分野は大きな広がりを持ちます。また、演じる、鑑賞する、機会や場をつくるなど文化活動の形態も多様です。分野、関わり方に関わらず市民の主体的な取り組みを誘発・推進することが重要です。
- 文化的な都市環境
美しさやうらおい等のある都市環境の創出は、こころ豊かで、生き生きとした市民生活を実現し、また、まちの魅力を高めることとなります。市民の感性を高め、文化活動を育む都市環境、多様な文化活動の成果が浸透する都市環境など、市民生活の基盤となる文化的な都市環境の整備が必要です。

(2) 地域文化環境の整備

ア 地域文化情報の収集・提供

市民の文化活動を支援するため、日常的な活動の場、成果発表の場として多様な活動の場や機会を提供するとともに、文化情報の提供や地域文化の交流を推進しました。

平成 20 年度に実施した事業は次のとおりです。

- 文化活動の場や機会を提供しました。⁽⁹⁾
 - ・大津市美術展覧会の開催 (7月 応募数 458点)
 - ・大津市写真展覧会の開催 (9月 応募数 354点)
 - ・花登筐文芸奨励賞の募集 (7月～9月 応募数 274点)
 - ・文化施設による自主事業や講座の開催及び管理運営
- 地域文化活動情報の収集・提供を行いました。⁽⁹⁾
 - ・「街中が楽しい宝箱計画」に基づき、市民が文化活動をできる場所の情報を公営・民営併せて収集し、ホームページにて市民に提供しています。
 - ・後援名義の使用承諾をした文化団体の催しを市のホームページにて紹介しています。
- 地域文化交流を推進しました。⁽⁹⁾
 - ・第61回大津市文化祭の開催
 - 地域文化祭、音楽、演劇、舞踊などの舞台芸術、文芸・生活文化等の成果発表と鑑賞の機会、短歌・俳句大会の開催及び市民文芸誌の発刊等の実施
 - 期間 平成20年10月1日から平成21年1月31日まで
 - 会場 各公民館、市内文化施設
 - ・大津市文化連盟の育成
- 「文化情報センター」を運営し、生涯学習情報の収集と生涯学習に関する学習相談を実施しました。⁽⁶⁰⁾

(3) 新しい環境文化の創造

ア 市民による地域環境づくりの推進

- インターネット上で利用できる環境情報システムWeb版「かんきょう宝箱」による情報収集・提供を実施しました。⁽²²⁾
- 生涯学習センターでは自主学習グループに学習の場と発表の機会等の提供を行いました。⁽⁶⁰⁾

2 子どもの遊び環境の確保

子どもが地域の豊かな自然や個性ある環境資源とふれあえる場所や機会を大切にします。

子どもと環境との関わりを育てるために、環境資源との出会い、体験を重視し、「不思議」「感動」など環境資源に対する感受性を高めます。また、子どもの主体性、自主性を尊重し、遊びや楽しみを通じて学ぶように工夫します。

遊び場としての身近な自然を保全するとともに、子どもの視点での公園や広場、学校などの環境整備を進めるなど、豊かな遊び環境づくりを推進します。

子どもたちの交流を進め、大人が蓄積している生活の知恵や工夫、遊びなどを継承します。

(1) 大津市次世代育成支援行動計画 ～大津っ子 子育て応援プラン～について

「大津市次世代育成支援行動計画～大津っ子 子育て応援プラン～」では、子どもの幸せを社会全体で支え合い、子どもが健やかに育つ環境づくりを基本理念としており、平成 18 年 4 月の子育て総合支援センター「ゆめっこ」のオープンをはじめ、遊び環境の整備や体験学習、環境学習の実施など子育て環境施策を体系的に推進しています。⁽¹¹⁾

(2) 身近な地域に子どもがふれあえる自然の確保

ア 公園等の整備

環境について学ぶことは、これからの社会を担う子どもたちにとってとても大切なことです。

また、環境について知識を得るだけでなく自然と出会い、遊びや体験を通じて学ぶことが大切となります。

このため、ため池やクリークといった現存する自然を生かした公園整備や植栽計画に工夫を加えることにより、子供に限らず多世代が自然に親しめる多目的な公園整備を進めています。

(3) 子どもの遊び場や施設の整備

ア 「・川少年自然の家」の活動

集団宿泊体験を通して、仲間づくりや集団生活のあり方を学ぶとともに、自然を愛し美しいものに感動する豊かな心を持ち、大自然に畏敬の念を深め、人間性の育成を図ることによって「人を結び、時を結び、自然と結ばれる 結の湖都大津」のまちづくりを担う子どもの育成を図っています。⁽⁶³⁾

平成 20 年度に実施した事業は次のとおりです。

- ふるさと体験学習事業では、市内小学校 37 校の 4 年生及び中学校 18 校の 1 年生が、学校ごとに自然の中での宿泊体験活動を行いました。
- 冒険塾(6 泊 7 日、48 人が参加)、小さい秋探険隊(1 泊 2 日、42 人が参加)、北風わんぱくキャンプ(2 泊 3 日、42 人が参加)、自然の家ボランティア養成セミナー(1 泊 2 日 2 回、22 人が参加)などを実施しました。

イ 児童館の充実

児童福祉法に基づく児童厚生施設として児童の健全育成を図るため、平成 21 年 3 月 31 日現在 7 箇所の児童館を設置し、児童厚生員が中心となって活発な事業が展開されています。⁽¹²⁾

また、各児童館に必要な備品を購入するとともに、計画的に施設の整備を図っています。⁽⁵⁶⁾

ウ 児童遊園地の整備

現在 511 か所の児童遊園地があり、児童の健全で安全な遊び場として、また地域に親しまれる憩いの場として利用されています。⁽³⁵⁾

平成 20 年度に実施した事業は次のとおりです。

- 施設備品の充実、遊具等の修繕及び安全点検の実施、マナー啓発看板等の設置、樹木の剪定・消毒・草刈り・砂場の砂補充等適正な維持管理に努めました。⁽³⁵⁾
- 安全な児童遊園地として整備するため、点検結果に基づく適正遊具の設置を図りました。⁽³⁵⁾

児童遊園地の整備状況

(平成 21 年 4 月 1 日現在)

学区	設置数	学区	設置数	学区	設置数	学区	設置数	学区	設置数
小松	3	堅田	23	滋賀	39	膳所	21	上田上	7
木戸	3	仰木	4	山中・比叡平	2	富士見	21	瀬田	26
和邇	8	雄琴	13	長等	2	晴嵐	30	瀬田南	30
小野	—	日吉台	—	藤尾	9	石山	25	瀬田北	39
葛川	1	坂本	16	逢坂	12	南郷	16	瀬田東	27
伊香立	9	下阪本	28	中央	—	大石	8		
真野	24	唐崎	16	平野	22	田上	27	(計)	511

(4) 子どもたちの交流の推進

ア 「大津っ子まつり」の開催

平成 20 年度に実施した事業は次のとおりです。

- 5 月 18 日に皇子が丘公園一帯で、「第 25 回大津っ子まつり」が開催され、ステージイベントや各実行委員会による体験・学び・遊びなどの事業が実施され、約 42,000 人が参加しました。⁽⁸⁾